

アオウオ (コイ科)



学名：*Mylopharyngodon piceus*

別名：チンヒー、クロゴイ、ソウギョ

大きさ：全長 100 cm

特徴：体は細長く、やや側扁する。体色は全体的に青黒く、背面はやや濃く、腹部は灰白色を帯びる。口ひげはない。尾びれは比較的良好に発達する。各鰭の色は黒色から暗色。

天然繁殖は利根川水系のみで確認されている。利根川水系での繁殖などについての生態はハクレンなどと同様と考えられている。繁殖が利根川水系に限られているのは、本種の卵が分離浮性卵であるため、長大な河川でなければ卵がふ化する前に海に達してしまい死滅するからである。

主にタニシ、エビ、水生昆虫などを食べて生活している。

国内の分布：利根川水系、霞ヶ浦・北浦

県内の分布：霞ヶ浦・北浦、利根川。1943年と1945年に放流されたソウギョ種苗に混入して利根川水系に移入されたとされている。霞ヶ浦・北浦には利根川から侵入し

てくるものと考えられている

備考：原産地は、ソウギョやハクレンと同じくアムール川水系から北ベトナムまでのアジア大陸東部（主に中国）。中国では、本種のほかにハクレン、コクレン、ソウギョが“四大家魚”と呼ばれ、重要な水産資源として養殖されている。

なお、本種は外来生物法において要注意外来生物に選定されている。

主な文献：

加瀬林成夫・三浦紀人（1957）霞ヶ浦北浦にて漁獲された小形のアオウオ *Mylopharyngodon piceus* (Richrdson) について. 茨城県水産振興場調査研究報告, 2: 26-29.

野内孝則・荒山和則・富永 敦（2008）霞ヶ浦北浦で確認された外来魚の導入経緯. 茨城内水試研究報告, 41: 47-54.